

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

252号



2022年10月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 「羽田空港のこれから」秋号配布

10月6日ごろ新聞折り込みで国交省からのチラシが入っていました。B2版?の立派な紙で、紙代・印刷代でまた税金がどれだけ使われたとか。内容は目新しいこともなく、中にはまるで無意味な図示もありました。

○ 成田空港に1キロの落下物

21日朝、成田空港の滑走路脇で1キロ近くの重さの航空機の金属製の部品が落ちていたのが発見されました。どの航空機のものか分からないそうです。

○ 羽田問題で国会議員と市民の会合

10月25日、衆議院議員会館で、各区の市民団体の人々約80名と国会議員連盟の議員との会合があり、各区の運動について報告や意見交換がありました。

・どの区も自公議員の反対で、国交省への意見申し込みや撤回要求の陳情が不採択にされているようです。

・特に川崎コンビナート上空を離陸直後に飛ぶルートは危険この上ない状況です。

・管制方式を国際化すれば充分増便可能なのが認知されていないようです。

○ 劉一辰さん来訪

10年ほど前、中国からつくば大学に留学し、常盤台の都市計画を研究していた劉一辰さんが、明海大学の教師として一旦帰国していた中国から来日、常盤台も訪れたいと言っています。

○ 「常盤台の花」展

9月29日(木)から10月4日(火)まで、ギャラリー服部で「常盤台の花」写真展を常盤台の花づくりの会と共催しました。散歩の道すがら見られる花をスマホで撮影したもので、A4版に延ばしても焦点が合っているスマホカメラの優秀さに改めて感心しました。反省点を踏まえ来年も開催を予定しています。ご自慢の写真がありましたらぜひご出品ください。

○ 「定点写真」展のお知らせ

12月1日(木)～6日(火)

10時～16時 (5日だけ～12時)

於 「ギャラリー服部」

○ 常盤台を舞台に? NHK夜ドラ

10月10日から始まったNHK総合TVの夜ドラマ「つまらない住宅地のすべての家」に常盤台を舞台としてロケ隊が来ました。今のところ常盤台の街は登場していませんが…

○ 石井幹子さん「新美の巨人たち」出演

世界的照明デザイナーの石井幹子さんが10月1日(土)22時～BS東京「新美の巨人たち」に登場しました。80代とは思えない若々しい活躍ぶりで、雷門や福山城のライトアップも石井さんの仕事と知りました。10日に再放送。

また、石井幹子プロデュース、よみうりランドジュエルミネーションが20日よりスタート。2010年以来、宝石色のイルミネーションと、東京の大夜景が一度に楽しめる他に類を見ないスポットとして、毎年好評とか。

今年のテーマは、「LIGHT IS HAPPINESS!」
幸せに包まれる、美しい光の数々を、是非体験して下さいとのことです。

包装袋の使い回し

レジ袋が普通に手に入っていた頃には、ゴミを入れて出すのにとでも便利でした。

環境への配慮から、買い物にも自前の買い物袋を持って行く人が増えました。では、ゴミはどうやって出すのか、ある人はあらゆる包みを利用するそうです。袋になっている物はすべてゴミ袋にするとか。トイレットペーパーの袋、野菜や果物を包んでいた袋、新聞紙やDMの包装まで、使おうと思えば全て使えます。

透明な太陽光発電パネル

今使われている太陽光パネルは殆ど可視光線で発電しているそうですが、赤外線と紫外線を吸収して発電し、可視光はそのまま透過させる素材を透明な膜にしてガラスやフィルムに貼り付けるものが発明されたそうです。

赤外線は太陽熱の源だから、それを消費して発電するということは、この素材を貼ったガラスの断熱性が極めて高くなることも意味し、これを窓ガラスやビルの垂直外壁部分に使用すれば、外の景色は普通のガラスのようによく見えるが、同時に発電をし、熱の移動を遮断してくれます。一石二鳥の素材と思われるので、早期の実用化が期待されます。

どうなる？ 区立中央図書館あと

常盤台公園にあった区立中央図書館が平和公園に移転してから三年が経過しています。

この間、図書館あとの建物は、ワクチン接種会場として「活躍」してきましたが、跡地の利用計画はまだ決まっています。

板橋区はコロナ禍前の一九年十一月に図書館跡地を「常盤台区民事務所」と「駐輪場」とする案を説明会で提示していましたが、コロナ禍でいったん計画が凍結されています。しかし、区立ときわ台保育園の今年度の入園申し込みの際には、「二六年度以降は、現常盤台区民事務所の地に移転し、区立から民間保育園になる」と説明されています。そのためには区民事務所の移転が完了していることが前提になっています。

来年六月ごろこの計画が決定になる可能性が大きいと思われます。

しかし、常盤台公園の一角である図書館跡地に区民事務所と駐輪場がふさわしいのでしょうか？

常盤台地域の中心である公園周辺は何よりも景観と静寂性が大切にされるべきです。

区民事務所は現在の場所でもなんら不都合ではなく、駐車場など広いエリアからの利用者にはかえって利便性が高いですし、現行の三井住友銀行横の駐輪場を移転させる計画は借地料の節約を意図したものにすぎません。

景観の保持に尽力している地域の区民の気持ちを考えると、公園の拡大を行うか、小規模の文化施設にしたいものです。(M・Y)

常盤台公園のはなづくり

やっと芝生の刈り込みに腰をあげました。始めて見ればなんと言うことも無いのですが、いろいろ理由を探しては取り組むのを先延ばしにしていたのです。

ヤブカラシの退治も三人ほどお喋りしながらやりました。ツツジの上に、はびこるだけはびこって、日陰にされてしまった植物は、さぞかし鬱陶しいことだったでしょう。

「常盤台の花」写真展で販売した三〇個ほどのマーマレードは完売しました。嬉しいのはリピーターの方が増えていくことで、四個まとめてお買い上げの方もいらっしゃいました。マーマレードは苦みがあり、それが特徴で魅力でもあるので、ゆでこぼしもせずにつけているのですが、その良さが解っていただけだと作り甲斐があると云うものです。来年もよろしく願います。

「花」展では来場するどなたも花好きなので、ひと目であそこのあの花、と解っている人ばかりでした。そう言う人達との会話は時を忘れるほど楽しいものでした。

今回は場所別に展示しましたが、季節毎にしては？とご意見があり、撮り残しも含めて来年はもっと充実させたいと思います。また花談義をいたしましょう！

